



近藤 魁人 議員
(匠の風)



企業誘致と環境の整備について

問 起業支援制度について、市としての評価、また成果は。

答 「**商工観光課長**」 創業塾をはじめ、補助金や利子補給制度を活用することで創業につながっており成果が出ている。

問 本起業支援制度の継続及び拡充をぜひお願いしたい。本制度の継続及び拡充に関して、市としての考えは。

答 「**商工観光課長**」 市としては、まずは現行制度の周知を図り、創業につながる件数を増やしていきたい。

制度の拡充については、貴重な御意見として承らせていただく。

問 他の自治体では、法人住民税を一定期間減免するなど、独自性のある事例もある。企業誘致制度の大胆な拡充などを検討されてみてはいかがか。

答 「**商工観光課長**」 本市にとってどういった制度が効果的か、引き続き調査研究していく。

地域おこし協力隊制度について

問 地域の人材確保において、地域おこし協力隊制度は有効な手段であり、現在匠瑤市で活躍されている隊員の皆様は、着実に成果を上げられていると評価している。

協力隊制度を拡充されていくことを検討するということが、今後、具体的にどのような人材を募集していく予定か。

答 「**企画課長**」 各担当課において、施策の推進や課題解決等の一つの手段として、それぞれの取組に沿った地域おこし協力隊の活用を検討している。

問 匠瑤市の地域資源を活用しながら、逆に隊員の皆さんから提案をしていただく、通称フリーミツション型での募集を検討してみてもいかがか。

答 「**企画課長**」 今後、その必要性や効果等について調査研究してまいりたい。

問 地域おこし協力隊の起業制度は、国が今力を入れている制度。ぜひ幅広い分野で活用していただきたい。市長の意見はいかがか。

答 「**市長**」 本場に有用な人材の活用につながると思う。全庁的に考えながら、さらに地域おこし協力隊を活用していきたいと考えている。



荻谷 進一 議員
(二十一世紀の会)



福祉問題

問 子ども・子育て支援について、本市が、国・県から頂いている事業に対する補助金は適正に執行されているのか。

答 「**市長**」 補助金は適正に支出されていると認識している。

問 こども家庭庁長官から出ている都道府県知事宛の書面は見たことがあるか。

答 「**市長**」 はつきりとわからない。

問 支給に対し色々な個々の事業がある。上限枠を設けて上限と実施額と最高額のうちから出費をするとある。上限額で、制限を出さず国・県の法令に反した状況で執行している。余分な補助金を出しているから余剰金があり、役員が多く取っている。市長が直接的に連絡を取ることはもってのほかである。再確認し、改めてもらいたい。余分なお金を払うべきではない、市のお金も入っているので違うものに少しでも回した方が良くと思う。

答 「**市長**」 情報をいただいたので、書類内容、確認し担当課に精査を指示し、精査の上、検討させていただきます。

病院問題

問 病院の入札方式はプロポーザル入札と聞いているが、どういう入札方式なのか把握しているか。

答 「**市長**」 それぞれ業者に競っていただき、一番いいところを評価して選ぶ入札方法かと認識している。

問 少し違うがプロポーザルの内容を把握してもらいたい。このことに対して業者、議員と面談や情報の取引はしていないか。

答 「**市長**」 設計業者は挨拶に来てはいるが、情報を出すとかは一切ない。

問 コンサル業界、ゼネコン業界で談合情報的なものが流れている。コンサル会社と大手ゼネコンと現場ゼネコンが組んでやる、議員も絡んでいるという談合情報が流れている。コンサル会社とゼネコンが組んでいたらプロポーザルは危険だ。建設コストが上がっている中で銚子市の入札がどうなったか知っているか。

答 「**市長**」 不調に終わったと認識している。

問 計画性が全然ない。議員や市民に病院事業の予算がわかるよう説明してもらいたい。その上で最終的に判断すべきだと思う。私は新病院建設に反対ではない。多古町や横芝光町と組めば財特法が使える。組むことも考えた方がよいのではないか。

答 「**市長**」 金額のこととか財政のこととはしっかりと考えていきたい。